

## EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2011.8.1

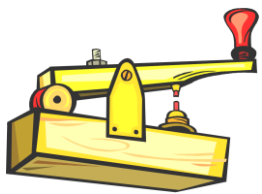
No.85

テレビ放送が地上デジタルに完全に変わって  
から一週間たちました。通信の技術は日進月歩  
です。その中心は、今でこそテレビや電話、イ  
ンターネットですが、それらの先駆けになっ  
たのは「電信」でした。この「電信機」の開発に  
成功したのはサムエル・モールズというクリス  
チャンです。SOSで馴染みのあるモールズ信  
号は、彼の名前にちなんで付けられました。で  
は、モールズが電信機でテストとして送った言  
葉は聖書の言葉でした。民数記二十三章にある  
「神がなさったこと」というものでした。今回  
は、「神のなさったこと」を一つ考えます。

まず、第一に神は「聖書」を人類に与えられ  
ました。聖書には人間の理解を越えた神のこと  
ばが多く記されています。例えば、次の言葉は  
今から四千年ほど前、ヨブという人間に神が語  
られたものです。

「あなたはいなずまを向こうに行かせ、『私たち  
はここです。』とあなたに言わせることができ  
るか。」 (ヨブ記三十八章三十五節)

ここで神は、いなずまを離れたところに送っ  
て、私たちはここです、と伝えることができる  
か?とヨブに問いかけられたのです。いなずま  
の正体は「電気」です。電気を送って離れたと  
ころに情報を送る…。これはまさに無線、携帯



## 神がなさったこと!

れた聖書にどうしてこのようなことを記すこ  
とができたのでしょうか。人間の知識や知恵  
をはるかに越えることを予め記すことによっ  
て、聖書がただの書物ではないことを示され  
たのです。

第二に、神はイエスを十字架にかけられ、  
三日後によりがえらせたということです。神  
は人間の罪の解決を与えようとしてください  
ました。二か月前ドイツで起こったことです。  
新聞社やテレビ局のカメラマンなど三人の乗  
客を乗せた飛行船が、イベントを空から取材  
し、戻っていました。突然エンジンから大き  
な音がして燃料臭がたちこめたのです。操縦  
士のマイケルさんはすぐに危険を察知し、地  
上からわずか二メートルの地点まで飛行船を  
降下させました。そして、三人の乗客に飛び  
降りるように言ったのです。三人の脱出で軽  
くなった飛行船は高度五十メートルまで上昇  
し、空中で火を噴いて墜落してしまいました。  
マイケルさんは操縦桿を握ったままの姿で亡  
くなったのです。彼は周りに被害が及ばない  
ように最善を尽くしたのです。彼の死は、他  
の多くの人の命を救い、守ったのです。  
イエスは私たちの身代わりになってくださ  
いました。マイケルさんが自分の命を失うこ

とをどこまで予期していたかはわかりません。し  
かし、イエスの場合は、必ず死ぬことがわかって  
いました。それも、十字架という最大の苦しみを  
経験した後に訪れる壮絶な死です。マイケルさん  
は自分を信頼して飛行船にのってくれたお客の  
ために、責任を感じていました。しかし、イエス  
は自分を憎み、敵対しているもののために祈り、  
自分の命を捨ててくださったのです。イエスには  
その義務や責任はありませんでした。ただ、私た  
ち人間を愛して、私たちの罪が赦されるために、  
代わりに裁きを受けてくださったのです。亡くな  
ったマイケルさんに、そのときの気持ちなどを聞  
くことができせん。しかし、イエスは死んで終  
わりの方ではありませんでした。神はイエスを三  
日めによりがえらされたのです。復活に出会った  
大勢の弟子たちは、十字架の死や復活の意味を、  
イエス本人にしっかりと確認することができま  
した。イエスへの信仰によって、永遠のいのちを  
得ることがわかったのです。

モールズは、死の四年前に次のように記しまし  
た。「人生の歩みが終わりに近づくにつれて、聖  
書が神によってもたらされたという証拠がま  
ます明らかになってきた。そして、罪に墮ちた人  
間を神が救う方法の偉大さと荘厳さはますます  
光を放っている。未来は、希望と喜びで照らされ  
ているのである。」モールズは、「神のなさった  
こと」をしつかり受け止め、イエスを自分の救  
主として受け入れていました。みなさんも神の救  
いを受け入れてくださいますように。

高校卒業程度認定試験

N

私は八月三日、四日と二日間連続で高校卒業程度認定試験を受けます。ホームスクーリングを始めてから、英検以外に試験を受けたことがなかったのですが、緊張しています。

高卒認定のために日本史と世界史は一月から、他の六教科は四月から、主に高卒認定ワークブックを使って勉強を始めました。初めのうちは、過去問を解いてみても、全然点数を採ることができませんでした。前回も解くうちに問題形式に慣れていきました。

今一番不安な教科は世界史です。なぜかと言うと中学生の時に一度も勉強したことがなかったからです。基礎から学べるNHKの高校講座を用いて勉強しました。

試験を受けるのが好きという人は少ないと思いますが、試験があるからこそ、勉強にやる気が出てくるなど感じました。

八月三日、四日には全力を出しつつ、神様にすべてをゆだねて、試験に臨みたいのです。

いっしょにいっしょました！ 行事報告

七月

六日 長居プール

十六日 お楽しみ会

十九日 塗り絵・工作教室

(文字のデザインをしよう②)

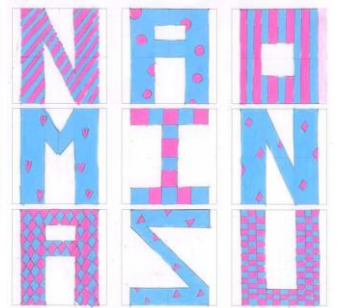
二十八日 合同公文教室・扇町プール

二十八～二十九日

丁家へお泊り・キッズプラザ(R)



お楽しみ会でいろいろな係につきました。つかれたけれど充実！



絵画教室で、文字をデザインしました。正方形の枠の中に定規を使って統一したデザインを考えました。



バイブル・キャンプ

E

東住吉集会の夏の恒例、バイブル・キャンプが近づいてきました。

ヤングクラスで二日目の夜のスペシャルナイトで劇をすることになり、みんなで力を合わせ、取り組んでいます。今回は「きみはきみらしく」というマックス・ルケードの本を十分にまとめ、劇の脚本を作りました。脚本が完成したのが本番四週間前です。みんながそろって練習が一週間、一回なのであと四回しかありません。配役を決めたり、小道具を作ったり、大忙しです。特に時間が十分しかないので早口にもならないように気をつけながら、みんな練習しています。パンチネロという木の人形が流行にのるが、ついていけず自分を作ったエリのもとへ帰り「きみはきみらしくいるのが一番いい」ということを知るお話です。

僕の役は主人公のパンチネロです。主人公なのでセリフがおおいので覚えるのが大変ですが、がんばりたいと思います。

編集後記

今月一面のメッセージは八月二十八日にラジオ番組「聖書と福音」(ラジオ関西 朝7時45～8時 558キロヘルツ)で放送されるものからの抜粋です。現在、三カ月一回の割合で放送を担当しています。インターネットでも聞けます。「聖書と福音」で検索してください。文字テキストでも見れます。